令和８年度　豊岡中学校区　小中一貫教育グランドデザイン

中学校区小中一貫 教育目標	自分を知り、自分を律し、向上を目指す児童生徒の育成 ～よりよい人間関係の構築から学力の向上を目指す～

各小中学校の 学校教育目標	大桑小：進んで学ぶ子　思いやりのある子　元気にはげむ子 轟　小：やさしくたくましく未来を切り拓いていく子【自律と尊重】 豊岡中：尽くす（他を思いやる生徒）耐える（粘り強くやり抜く生徒）考える（深く考える生徒）

目指す学校像	目指す児童生徒像	目指す教師像
・笑顔があふれる学校 ・ルールやマナーを守れる安全な学校 ・学び合いより良く生きようとする学校	・よりよい人間関係を構築できる児童生徒 ・正しく判断し行動できる児童生徒 ・互いを尊重し成長し合える児童生徒	・同僚性と協働性豊かな教職員 ・確かな指導力と教育的愛情のある教職員 ・主体的な学び手として学校経営に参画する教職員

◆９年間で育む資質能力・具体的取組内容

		自ら学び工夫する子 （知）	心豊かで思いやれる子 （徳）	元気に励む健やかな子 （体）	家庭・地域とつながり 学びを生かす子 （家庭・地域連携）
前期	小１ 小２ 小３ 小４	○人の話を聞き、自分の考えを伝えることができる。 ・決められたこと（宿題など）に取り組むことができる。	○あいさつ、返事、相手に合わせた言葉遣いができる。 ・あいさつ、約束、返事、相手への思いやりの行動を共通指導	○自分の心身の健康に興味関心をもち、生活習慣の基盤をつくることができる。	○地域の人に挨拶ができ、感謝を伝えることができる。 ・地域での学びに関心を持つ。 ・家庭とめあてを共有して取り組むことができる。
	取組内容	・授業の基本（聞く、話す）の共通指導 ・宿題を出す。 ・公開授業・相互授業参観	・あいさつ、返事言葉遣いの共通指導 ・実践力を育てる道徳の授業の充実	・心と体の健康チェックシートの実施 ・生活リズム（早寝、早起き、朝ご飯）の習慣の定着 ・給食指導・食育（感謝・バランス・衛生） ・保健指導（手洗い・歯磨き等） ・栄養士との食に関する授業の実施 ・地域学校保健委員会の実施	・目標を各学校運営協議会で共有し、家庭・地域へ発信する。 ・地域探検・見学等で地域に親しむ。
中期	小５ 小６ 中１	○聞いたことに関連づけて、自分の考えをもち、他に伝えることができる。 ・授業での学習内容や振り返りを生かして、次の学習に主体的に取り組むことができる。	○自他の違いを認め、よりよい人間関係を築くことができる。 ・自己理解、他者理解を深めることができる。 ・不安や悩みを相談できる。	○自己の生活を点検し、健康で安全な生活を実現するために何が必要かを考え、適切に意思決定をし、行動ができる。	○家庭や地域と目標を共有し、学習や生活を継続できる。 ・地域の学びに参画し、役割をもって活動できる。
	取組内容	・公開授業・相互授業参観 ・中学校教員による小学校乗り入れ授業の実施	・中１ギャップへの対応（交流・相談体制の充実） ・道徳の授業における話し合いの充実 ・構成的グループエンカウンターによる学級づくり仲間づくり	・心と体の健康チェックシートの実施 ・SC による心の授業の実施 ・自己の健康状態を振り返り、自主的な健康管理能力を養う。 ・栄養士との食に関する授業の実施 ・地域学校保健委員会の実施	・4，5 年宿泊学習の実施 ・6 年小小交流会の実施 ・6 年豊中祭見学 ・中学生による小学校訪問交流 ・公民館等の交流活動の場への参加
後期	中２ 中３	○多様な他者と意見や考えを伝え合うことで、互いに高め会うことができる。 ・自ら設定した課題をもとに、学習内容を調整して、取	○自律した行動がとれ、集団の中で自分の役割を果たすことができる。 ・他者を支える行動ができる。	○自他の健康課題をとらえ、主体的に健康・安全な生活の実現に向けて課題解決に取り組む。	○地域や社会の課題に関心を持ち、協働して取り組むことができる。 ・総合的な学習の時間における学びを地域に発信する。

		り組むことができる。	・いじめを許さない人権尊重の精神を養う。		・将来を見据え、地域と関わりつけようとする態度を養う。
	取組内容	・公開授業・相互授業参観 ・総合的な学習の時間の学びの成果発表会	・上級生としての役割意識の育成（リーダーシップの育成。） ・リーダーを支える役割意識の育成（フォロワーシップの育成） ・いじめアンケートの活用（早期発見・早期対応） ・人権学習会の実施	・心と体の健康チェックシートの実施 ・SC による心の授業の実施 ・栄養士との食に関する授業の実施 ・地域学校保健委員会の実施	・生徒会レクリエーションによる地域活動の実施 ・中学校説明会 ・とよおか福祉まつり等社会福祉協議会、公民館の活動への協力

◆教育課程において重点的に取り組む事項

目指す姿	他者と意見や考えを交わし、高め合える児童生徒
取組内容	・各教科の授業、道徳、学級活動、総合的な学習の時間等における学びにおいて、対話・共有・合意形成といった場面を意図的に設定する。 ・児童生徒同士の話し合いのルール（根拠を伝える、折り合いをつける、結論をまとめる等）を継続して指導する。 ・地域資源で学んだことを蓄積し、後期段階では、生徒同士ではなく地域の方等とも意見や考えを交わし、学んだ成果や課題を提案、発信する。

◆中学校区内でそろえて行う指導内容

学習面	・授業の基本の徹底（めあての提示・振り返りの実施・あいさつ・返事等） ・家庭学習の基本（時間の目安、提出、やり直し）の徹底
生活面	・基本的な生活習慣（睡眠・食事・メディア等）のルールづくり、家庭への発信 ・一人一台端末・情報モラルのルールづくり、継続指導
その他	・総合的な学習の時間における地域の学習資源の共有、地域資源を生かした学びの開発 ・防災・安全の連携・実施と情報共有

◆教職員の資質能力向上

取組内容	・相互授業参観・乗り入れ授業の計画的実施（小中、小小での授業交流、事前・事後協議） ・学力調査、質問紙、学校評価等の調査結果を用いた合同分析会議の実施 会議→課題共有→手立て→検証 ・生徒指導、教育相談に関する共通理解（発達指示的生徒指導、いじめ・不登校の未然防止、組織的対応、相談体制）

◆評価項目・評価指標

評価方法		学校評価（知）	学校評価（徳）	学校評価（体）	学校評価 （家庭・地域連携）
評価指標	区分	・自ら学び工夫できる。 肯定的評価 80%	・心豊かで自他を思いやることができる。 肯定的評価 80%	・元気に励み、健やかに生活できる。 肯定的評価 80%	・家庭・地域とつながり学びを生かす。 肯定的評価 80%
	前期	人の話を聴き、自分の考えを伝えることができた。	あいさつ、返事、相手に合わせた言葉遣いができた。	自分の心身の健康に興味関心をもち、生活習慣の基盤をつくることができた。	地域の人に挨拶ができ、感謝を伝えることができた。
	中期	聴いたことに関連づけて、自分の考えをもち、他に伝えることができた。	自他の違いを認め、よりよい人間関係を築くことができた。	自己の生活を点検し、健康で安全な生活を実現するために何が必要かを考え、適切に意思決定をし、行動ができた。	家庭や地域と目標を共有し、学習や生活を継続できた。
	後期	多様な他者と意見や考えを伝え合うことで、互いに高め会うことができた。	自律した行動がとれ、集団の中で自分の役割を果たすことができた。	自他の健康課題をとらえ、主体的に健康・安全な生活の実現に向けて課題解決に取り組むことができた。	地域や社会の課題に関心を持ち、協働して取り組むことができた。